



巡礼その二 インドネシア

1988年4月29日

カンボジアへのめどが立たないのでボロブドゥールへ行くことにした。1988年、ゴールデンウィークのバリ・ジョグジャカルタ6日間のツアーに申し込んだがツアー客は私達だけで、個人旅行のようであった。行きはジャカルタによってデンパサールへ直行であるが、帰りはシンガポール乗り換えになってしまうそうだ。そのため一日長くなるので良いか、確認の電話があった。シンガポールではどうするのか聞いたら好きなホテルを探すとのこと。もちろんラッフルズをお願いしたらOKであった。少し風邪気味であったがなんとかカルティカプラザについた。コテッジはまあまあで、通りを隔てたレストランでナシゴレンを食べた。

4月30日

ジョグジャへ飛ぶ飛行機が10時過ぎなのでプールでひと泳ぎする。アメリカ人のおばあさんが2人、トップレスで泳いでいた。これがいけなかったのか、鼻がつまってきた。飛行場でサンドイッチを買って食べたら、何か変な味がしたので、妻に見せたら臭いをかいただけで、腐っているからと言ってすぐに捨てられた。ガイドのトゥギマンさんは年輩のムスリムでとても日本語が上手い。戦時中日本軍に習ったそうだ。まずはケドゥ盆地にあるチャンディムンドゥ、チャンディパオン、チャンディボロブドゥールへ行く。まだ仏教説話やジャータカの知識が十分ではなかったので浮き彫りの意味が良く分からなかった。ボロブドゥールはとてもよく整備された公園になっており、やはり写真とは迫力が違う。頂上からの眺めは素晴らしく時間がなくなってきたので、トゥギマンさんをお願いして明朝もう一度きてもらう。朝6時に出発予定。

ジョグジャはとても落ちついた街で、当時はまともなホテルは我々が宿泊するアンバルクモパレスしかなかった。このホテルは王宮を改造したもので、とても雰囲気があり、たしか日本のオータニ系のホテルであったと思う。部屋もクラシックでセンスも良い。夕食はホテルのインドネシア料理で、靴を脱いで入る。風邪気味であまり食欲はないが料理はまあまあである。インドネシア料理はあまり美味しくない。ホテルのアーケードでジャワ更

紗を買う。もちろんジョグジャの伝統的な柄である。青と茶色と白の三色で、独特の模様である。

5月1日

6時に出発のため、朝食が食べられないので、昨日ランチボックスを頼んでもらった。ボロブドゥールをもう一度見学する。朝は涼しくとても気持ちがいい。その後プランバナソへ行きチャンディロロジョングランを見学する。当時チャンディブラフマーはまだ完全に修理されていなかった。チャンディセウ、チャンディプラオサンを見学してソロに向かう。ソロの町はジョグジャより更にこじんまりしておりとても落ち着く。ブンガワンソロのソロ河を見て、KASUNANAN 王宮を見学し、更紗屋へ行きソロの伝統的な柄の更紗を買う。ホテルはやはり王宮を改築した KUSUMA SAHID PRINCE HOTEL へ泊まる。夕食はホテルのレストランでセットメニューであったが、差額を払うことにしてロブスターを食べる。これがとても旨く、風邪が治ってしまった。

5月2日

翌日はジョグジャに戻り、チャンディカラサンとチャンディサンビサリを見学し、トゥギマンさんに必ずまた来ると約束してバリに戻る。再びカルティカプラザへチェックイン。

5月3日

バリからシンガポールへ行く。シンガポールのラッフルズへチェックインする。これが初めてのいわゆるグランドホテル体験で、その後各地のグランドホテルに泊まり歩くことになる。ラッフルズはとてもこじんまりしたホテルで、中庭のプールで泳ぐ。あの有名なバーに行きシンガポールスリングを飲む。部屋はとても広く、古くて床が傾いているが、年輪を刻んだとても良いホテルである。ホテルのショップでラッフルズのコーヒーカップとスプーンを買う。空港へ行き成田へ。